

平成26年 第1回 定例会

田原本町議会会議録目次

○3月5日(第3日)

開議(午前10時00分)	3-3
総括質疑(報第2号より議第22号の23議案について)	3-3
散会(午前10時41分)	3-18

平成26年 第1回 定例会

田原本町議会会議録

平成26年3月5日

午前10時00分 開議

於田原本町議会議場

1, 出席議員 (14名)

1番 阪東吉三郎君	2番 森井基容君
3番 安田喜代一君	4番 森良子君
5番 古立憲昭君	6番 西川六男君
7番 竹邑利文君	8番 辻一夫君
9番 吉田容工君	10番 植田昌孝君
11番 松本美也子君	12番 小走善秀君
13番 吉川博一君	14番 松本宗弘君

1, 欠席議員 (0名)

1, 出席した議会事務局職員

議会事務局長 植田知孝君 議事係長 中辻勇君

1, 地方自治法第121条の規定により出席した者

副町長 石本孝男君	総務部長 松田明君
総務部参事 持田尚颯君	住民福祉部長 平井洋一君
産業建設部長 福岡伸卓君	上下水道部長 取田弘之君
秘書広報課長 岡本達史君	監査委員 井上喜一君

教育委員長	後藤田 和 子 君	教 育 長	片 倉 照 彦 君
教 育 部 長	鋏 田 芳 嗣 君	会 計 管 理 者	奥 山 佳 延 君
選挙管理委員会 事 務 局 長	吉 田 悦 治 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	笹 岡 吉 久 君

平成26年田原本町議会第1回定例会議事日程

3月5日（水曜日）

○開議（午前10時）

○総括質疑（報第2号より議第22号の23議案について）

○散 会

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

午前10時00分 開議

○議長（辻 一夫君） ただいまの出席議員数は14名で、定足数に達しております。よって、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

日程に入ります。

総括質疑（報第2号より議第22号の23議案について）

○議長（辻 一夫君） 今期定例会に一括上程いたしました報第2号、平成25年度田原本町一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告より、議第22号、山辺広域行政事務組合の解散に伴う事務の承継の変更についてまでの23議案につきましては、去る3日に行われました副町長の提案理由の説明に対し総括質疑を許します。質疑、ありませんか。はい、6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 議長の許可をいただきましたので、総括質疑を質問させていただきます。

まず最初に、校務事務の効率化、情報のセキュリティの向上を図るために、常勤の教員に対して一人一台の校務用パソコンを整備されますけれども、まず常勤の教員ということはどういう範囲であるのか。まずそこから聞かせてもらえますか。

○議長（辻 一夫君） 教育部長。

○教育部長（楢田芳嗣君） 校務用のパソコンを整備する常勤の教員の範囲につきましては、校長をはじめ教頭、学級担任など毎日フルタイムで勤務をする教員が対象でございます。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） ということは、この間の質問の中にも出てまいりました単年度採用の講師の方もおられると思うんですが、常勤だとは思いますが、その方についてもどうか。それから事務職員さんもおられる、教員ではないと思いますが、そこら辺についてはどのように考えておられますか。

○議長（辻 一夫君） 教育部長。

○教育部長（楢田芳嗣君） まず初めに、このパソコンを支給整備していない人というほうが分かりやすいかと思しますので、用務員さん、給食調理員さん、時間でし

ております講師、県費の学校サポーターでございます。町のいじめ対策の指導員も整備はしておりません。それ以外の方すべて、事務職員も整備をさせていただきます。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 大変私はこのことは必要なことだと思います。どちらかという
うと遅きに失したぐらいの感じで、それぞれ情報の管理とか必要だと思います。

もう1つは、先生方に対してこういうふうにしていただくのは大変ありがたい。
それでは学校で、小中学校でパソコン教室がございます。そこにパソコンは入って
おりますが、そこら辺のところは今の段階では予算計上されておられませんけども、
このことのセキュリティ、XPのセキュリティの関係についてはどのようにお考え
になっておられるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（辻 一夫君） 教育部長。

○教育部長（鍬田芳嗣君） セキュリティ向上のためのパソコン教室のパソコンの整
備につきましては、有害な情報から児童、生徒を守る閲覧制限ソフト及びコンピ
ュータウイルスを除去するウイルス対策ソフトの契約期限が到来しますことから、そ
れらのソフト使用料を新年度予算案に計上させていただいてるところでございます。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） ありがとうございます。よろしく申し上げます。

では2つ目に、田原本駅前整備についてお聞きいたします。

田原本の南側の再開発事業を実施されるということでございますけれども、この
南街区ですか、南の地区というのは具体的にどういう範囲をお考えになっているのか、
範囲をお尋ねします。

○議長（辻 一夫君） 産業建設部長。

○産業建設部長（福岡伸卓君） 市街地再開発事業の構想であります田原本駅南街区
基本計画を平成23年3月に策定いたしました。そこで、市街地再開発事業の計画
地区のことを一応南街区と呼んでおります。面積は約3,900平米でございます
て、南街区の土地所有者により平成22年8月、田原本駅前南街区検討委員会を設
立し、再開発についての研究や勉強を行ってまいりました。

そのようなことで、場所的に言いましたら駅前広場の南側のところですよ。久医院

さんの西側、県道桜井田原本王寺線の東側で阿部田の酒屋さんがありますところの間、あの部分が約3,900平米について南街区の設定をしております。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 具体的にどういうふうの開発をしていくか、ちょっと概要を、もう決まってるならお教えいただけますか。

○議長（辻 一夫君） 産業建設部長。

○産業建設部長（福岡伸卓君） まだ今組合施行という思いでいろいろ動いていただいています。具体的な規模は分かっておりません。まだ今現在策定中なんです。その中で面積はもう確定してますし、町も含めて権利者の方もおられますので、それに基づいてある程度、今は次に都市計画決定を打つ段階に来ております。それで具体的に高さや規模を考えていきたいと思っております。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 大変西側のほうを整備をしていただきまして、今度は南ということでございますけども、予算計上にはされておりませんが、それでは北側のほう駅の北側、それから、ついでに私いつもよく申し上げますが、笠縫のほうは今のところどういうふうにお考えになってるかだけ、ちょっと。

○議長（辻 一夫君） 産業建設部長。

○産業建設部長（福岡伸卓君） 財政力の話とかいろんなことがありますので、まずは南側から手をつけさせていただいて、そして順次話がまとまっていくのであれば北側も手をつけていかないといけないだろうと。そして、西川議員おっしゃった笠縫駅に関しましては、現在駐輪場の整備や、いろんな意味でのインフラの整備をさせていただいています。乗降客のこともありますが、今のところそこには考えておりませんので。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） よろしく願いしておきたいと思います。

あと3番目のところで、学童保育の指定管理料2,756万円ですか、この算出基礎についてご説明をお願いしたいと思います。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 田原本町内の6学童の保育所の指定管理料2,75

6万5,000円の内訳についてでございますが、人件費が大部分を占めております。約2,450万円が人件費でございます。残り300万円余りにつきましては、教材費10万円、ほか印刷費20万円、備品修繕費が60万円、インターネット等関係の通信費が25万円、事務用品及び消耗費等の購入費が120万円、季節に応じて行う費用として30万円、その他保険、研修等の費用が28万円余りで合計2,756万5,000円となっております。それで消費税増税分が来年からかかってまいりますので、その部分が65万円のアップという形になっております。

以上でございます。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） これはもちろん今年分、単年度分ですね。

それから学童に行ってる子どもたちの拡充ですね、学年を広げるとかそういう問題については今の段階では考えておられないかどうかだけ。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 昨年度、平野学童につきまして人数が増えたということで、1学級増やさせていただきました。来年度におきまして田原本学童、それが人数が大分増えておりますので、平成26年度におきまして1教室、予備教室をお借りいたしまして整備をしようと考えております。それから南学童につきましても人数が大変多くなっておりますので、教室の一部をお借りいたしまして増やすという形の考え方をいたしております。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 学童保育、子育て支援の関係もありますので、充実をしていただくようお願いをしておきます。

それから次に4番目の、保育所の運営費の負担金4,500万円余りについてご説明をお願いしたいと思います。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 保育所の運営負担金でございます。4億4,500万円ということでございます。保育所運営負担金の保育単価につきましては、地域保育所の定員、児童の年齢により厚生労働省が保育単価を定めております。その単価に加算分として主任保育士加算や民間給与等改善費などが加算されまして、各年

齡の保育実施人数を乗じて積算をしております。

一例を挙げさせていただきます。まず、宮古保育園の0歳児の保育単価につきましては1カ月約15万8,000円で、保育実施人数につきまして18名ほど見込んでおります。次に、1～2歳児につきましては保育単価が9万円、72名を見込んでおります。3歳児につきましては保育単価4万円で38名を見込んでおります。4～5歳児につきましては保育単価約3万2,000円で80名を見込んでおります。そのような形の中で宮古、阪手も積算をいたしまして、その合計額は4億4,500万円の予算をさせていただいてるわけでございます。

以上です。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） ありがとうございます。

じゃあ次の運営費補助金の8,643万円について、ちょっとご説明をお願いします。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 保育所運営補助金につきましては、田原本町保育所運営費補助金交付要綱に基づきまして算出しているところでございます。内訳につきましては、3園とも保育の実施人数及び対象人数並びに実施している特別保育事業等により金額を算出しています。

項目につきましては、まず特別支援保育事業、損害賠償責任保険補助でありますとか学校安全会加入補助、検便検尿検査及び一般管理費等でございます。その他各園で実施しています病児・病後児保育事業や開所時間延長保育事業、一時保育事業や特定保育事業の補助金でございます。各園ごとの補助金は、宮古保育園につきましては地域子育て支援センターを実施している関係上、約3,700万円、次に宮森保育園では2,560万円、子どもの森阪手保育園につきましては2,380万円となっております。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） また、このあと予算委員会等でもいろいろと論議をされると思いますので、この程度で結構でございます。

6番目の、中継基地の建設費の問題につきまして、全体として5億7,000万

円余り予算計上しておいでになりますが、そのうちの施設用地購入費、1億5,000万円の算出基礎等の説明と併せて、建設工事費3億8,975万円の説明をお願いしたいと思います。

○議長（辻 一夫君） 総務部参事。

○総務部参事（持田尚顕君） まず施設用地購入費1億5,000万円につきましては、鑑定による価格をもとにいたしており、面積は約6,800平方メートルで、物件補償等はありません。

次に、施設建設工事費については、造成工事、建築工事、積み替え設備工事が主な内容です。事業概要は持ち込みごみを収集車に積み替えを行う貯留排出設備や事務室、収集車などの車庫、倉庫、計量器を整備いたします。事業期間は平成26年度と平成27年度の2年にわたりますので、継続費として建設工事費と施工管理業務委託料を予算措置いたしております。継続費のうち、施設建設工事請負費は平成26年度が3億8,975万円で造成工事、外構工事、上下水道引込工事及び工場棟、管理棟などの出来高を計上いたしております。

また、平成27年度が3億3,120万4,000円で、2カ年の工事請負費の合計は、7億2,095万4,000円となります。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 今のご説明ですと、用地として6,800平方メートルのご予定だと。もしそれで今の段階で計画としては1億5,000万円、だから単価当たり大体2万円ちょっとになると思いますけども、ということは、いわゆる坪当たり6万円～7万円程度ですか。ということは、我々の単位で1反当たり1,800万円前後になるのかと思いますけど、そういう土地の値打ちというんですか、購入価格の算定の金額、算出をされる中で、そのベースはどのような条件で時価評価とかされたのかどうか。

○議長（辻 一夫君） 総務部参事。

○総務部参事（持田尚顕君） 今の予算計上させていただいてますのは鑑定の単価をベースに考えております。そういったことで周辺の地価の動向等を踏まえた鑑定価格というようなものでございます。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） もう1つ、施設建設の問題ですが、一般質問の中でも申し上げましたが、音とか、それから臭いとか、この間お話しした振動の話もありましたし、水道の話もございましたけども、そういう、いわゆる間違えますと迷惑にもなる、そういうことに対する対策ですか、これも含めた値段だと思いますか。そのように理解してよろしいでしょうか。

○議長（辻 一夫君） 総務部参事。

○総務部参事（持田尚顕君） そういうことで結構でございます。ダストドラムの貯留関係では脱臭設備も整備をいたします。それから振動につきましても防音の構造を採用いたします。破碎と申しますか、大きな粗大ごみにつきましては、その場所では破碎をいたしません。そういったことで振動も軽減される設備だということでございます。その排水につきましても下水道の接続を考えております。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） これから大変だと思いますけれども、よろしく願いをしたいと思えます。

ちょっと余計なことかもしれませんが、清掃工場の御所市へ建設することについてはいろいろ論議がありましたし、御所市につくることの結果として、こういう中継基地が必要、こういう経費が必要になってくるのではないかなと思えます。

例えば、同じ広域でつくるとしても、今現在清掃工場の問題を考えておられる大和高田市やあるいは天理市、そういうところあたりと仮に広域を組むとすれば、こういう施設も余り必要ではなかったのか。あるいは単独で、私たち意見を申し上げますが、そういうところを単独でやれば、こういう経費というんですか、も余り必要ではなかったのではないかなというふうに個人的には感じております。それは関係ありませんので、私の意見として申し上げます。

7番目の防犯灯の設置の補助金、1,500万円、これについての説明をお願いしたいと思います。

○議長（辻 一夫君） 総務部長。

○総務部長（松田 明君） お答えいたします。

本町では今日現在、昨日一般質問でもお答えいたしましたように、LED以外の防犯灯が2,979基ございます。補助要綱では防犯灯1基当たり3万円の限度と

補助をいたしておりますけども、平成25年度の実績では防犯灯をLED化にする場合に必要な1基当たりの平均が、設置の費用といたしまして約2万5,000円でできます。したがって、平成26年度から平成30年度、5年間で防犯灯のLED化に取り組みまして、1年間で600基で1,500万円を計上させていただいております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（辻 一夫君） 6番、西川議員。

○6番（西川六男君） 今のお話では、LEDになってない部分が今3,000基残っているということなんです。年間600基ということは5年かかるということになりますね。だからこのような質問をいたしましたけども、一斉にしたほうがいいんじゃないか、経費削減とかいう面で良いのではないかなというふうに私は考えておりますが、町のほうでは一般質問の答弁のとおりだというふうに理解しておきます。

結構でございます。ありがとうございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） それでは総括質疑をさせていただきます。今回ちょっと勉強不足で、余り立ち入った質問はできないと思いますので、皆さんには期待に沿えないかなと思いますが、頑張らせていただきますのでお願いします。

まず議第9号、補正予算ですが、たくさんの事業が計上されています。その点ではその中身を少し教えていただきたいなと思います。まとめて言いますので。

井堰工事780万円、農業基盤整備工事800万円の詳しい内容と、繰越明許が上がっていますので、それとの兼ね合いで説明をお願いしたいと。

同じく道路新設改良工事4,500万円、この内容についても同様に繰越明許との関係を示していただきたい。

そして交流促進施設基本構想と、2月の広報にはパブリックコメントを求めますということになってまして、元々の構想が2月の広報に載ってなかったんで、いつホームページに載るのかなと期待してます。まだ載ってませんよね。その点ではその中身を簡潔に説明していただきたいと。

それと橋梁長寿命化修繕計画と。この間平野の橋と秦庄の橋をされたということ

で、それが橋梁面のコンクリートをめくって、そしてアスファルト化されたように思うんです。その実際の工事の中身と、補正予算で上がってる金額が何に使われるのかと、この件について答弁を求めます。

○議長（辻 一夫君） 産業建設部長。

○産業建設部長（福岡伸卓君） 4点ほどおっしゃっていただきましたので、順番にお答えをさせていただきます。

まず井堰工事費の780万円と農業基盤整備工事費800万円の詳しい内容と繰越明許のことについてでございますけども、繰り越しが1,900万円で、農業基盤対策費用で国の経済対策によって補正予算で今回計上させていただきました。そのうち議員お尋ねの井堰工事費780万円は大木でございます。大木の井堰工事でございます。そして農業基盤整備工事費800万円につきましては、東井上と佐味地区の用水の水路改修工事を予定しております。それらに付属する設計委託料として320万円を予定をさせていただいているところでございます。

続きまして、道路新設改良工事4,500万円の詳しい内容ということでございますけども、繰越明許費は4,885万5,000円でございます。道路新設改良費の中で、これも同じく国の経済対策による補正予算をいただきまして、今回計上させていただきました。

場所でございますけども、1つは宮古23号線、そして十六面黒田線と、そして西竹田満田線、この3路線につきまして一応工事をさせていただくということでございます。金額的には宮古23号線が約1,000万円、十六面黒田線が約2,000万円、西竹田満田線が約1,500万円でございます。そして、それらに伴いまして根太黒田線の道路改良工事の詳細設計を今やっておりますので、その設計部分385万5,000円についても計上させていただきました。

そして次に、交流促進施設基本構想の概要でございます。その中で、ちょっと朗読をさせていただきたいと思います。

交流促進施設の概要につきましては、本施設の位置は（仮称）唐古・鍵遺跡史跡公園の北西部で国道24号線の西側に位置しております約0.7ヘクタールの土地に、（仮称）唐古・鍵遺跡史跡公園との連携を図りつつ、来訪者と地域住民のふれあいや交流及び田原本町の観光歴史文化の情報発信などについて効果的かつ継続的

に実施する施設として整備することを目的としております。

コンセプトは「地域憩いの場、観光の拠点となる“唐古・鍵遺跡公園のコンシェルジュ”」として、ターゲットを若年世代、小さな子どもがいる世代でございます、それと3世代世帯、おじいさん、両親、子どもさんのある人をターゲットに考えております。

施設の内容といたしましては、特産品の販売、飲食施設、大和青垣や（仮称）唐古・鍵遺跡史跡公園を眺めることができる展望台などがございます。その他町内の観光・イベント情報や国道24号線を含む周辺の交通情報や災害情報について情報提供することを考えております。

また、（仮称）唐古・鍵遺跡史跡公園を案内する遺跡ガイドボランティアの常駐や歴史体験機能として、多目的室を設置し、文化財体験を行うことを考えております。

自動車の駐車台数につきましては、土地の利用状況をまだ検討中で変わりますが、大体概ね小型車が70～100台、大型が概ね5台、二輪が10台、障がい者用が3台というような概略の規模でございます。

続きまして、橋の長寿命化修繕計画でございます。

橋の長寿命化につきましては、事業費が362万円でございます。橋梁工事委託料及び橋梁長寿命化詳細設計の執行残を当て込みまして、次回の橋梁長寿命化事業の発注をする計画でありまして、予定するのは保津13号1号橋、場所的に言いましたら磯城野高校の約西側300メートルほどのところに橋があるんですけど、その橋の予定です。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） 今回の項目は繰越明許に皆載ってる分で、それを聞かせていただいたわけですが、確認です。道路は十六面黒田線でしたかね、これは松村金物さんの前の道という認識でよろしいですか。

○議長（辻 一夫君） 産業建設部長。

○産業建設部長（福岡伸卓君） はい。十六面黒田線につきましては、国保中央病院の西側で、県道桜井田原本王寺線、十六面交差点から黒田へ向かう道路です。T字路になっていると思います。今コメリを建築しているところ辺、あそこに神田橋と

いう橋があります。その橋の部分を上部工とか下部工を拡幅しないといけないので、そこをちょっと触ろうかなということやらせていただいたつもりなんです。

もう1つ、今吉田議員おっしゃってるのは、根太黒田線道路詳細設計である中で言わせていただいた385万5,000円、それにつきましては、今おっしゃっている松村金物屋さんのところあたりの部分について詳細設計をさせていただき、詳細設計をつくって放線を決めていこうということでございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） ありがとうございます。次に行きます。

議第10号、国民健康保険の補正予算です。

これは予算とはさほど変わらず200万円ほどの増額なんです。そこでちょっと教えていただきたいのは、平成25年度はどういう最後結論になるかというところを知りたいので、今の予想ですので、それは3月の受診とかは、まだありませんので全く予想だと思えますけども、今のところ平成25年度がどのぐらいの保険給付で、どのぐらいの黒字か、赤字かというところを教えていただけたらと思えますので、お願いします。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 平成25年度の収支予想ということでございますが、1月末での予想をいたしております。これにつきましては一応歳入といたしまして38億5,700万円、歳出といたしまして34億7,000万円、差し引き3億8,700万円の黒字と見込んでおります。これにつきましては繰り越しがございます。そこに基金がここにまだプラス1億円という形もございます。そうした関係上、こういう形で黒字と見込んでいるところでございます。単年度収支につきましては、約7,000万円の赤字という形で見込んでいるところでございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） 一応今回の補正予算では全体として200万円ぐらいの誤差かなという思いを受けるんですね。それとは別に、予算のときからそうだったのかも分かりませんが、単年度は赤字。もともと単年度は黒字の予算をされてますよね。赤字だったんですか。そこをもう一回お願いします。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 単年度につきましては当初予算どおりでございますが、当初予測としては予算どおりという形の考え方をいたしておりましたが、給付費等の伸び関係もございまして、約7,000万円の赤字になると今は予測しているところでございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） また、ちょっと数字だから聞いてすぐ分かったような分からないような状態ですので、ありがとうございます。それと、直接ここには関連しないんですが、副町長にせつかく来てもらってるから答弁してもらわないと悪い気がするんで。

副町長の予算説明の中に、国保の特定健診について全く触れられてなかったんですね。特定健診というのは余り重視されていない、平成26年度。そこをちょっと教えてもらえますか。

○議長（辻 一夫君） 副町長。

○副町長（石本孝男君） ちょっと具体的な数値を今持ち合わせておりませんが、国保の対象者につきましても特定健診は実施していくと、集団検診また個別健診含めて従前と同様、健康管理を図る観点からやっていくということは変わっておりません。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） 突然の質問であれかと思えますけど、要するに特定健診は6割の方が受けるようにしようというのが目標で取り組んでおられると思うんですね。ところが昨年度25%、受診率ね、その点では倍以上にしないといけないと。ところが後期高齢者のところには特定健診を重視すると、国保については全く言及されてなかったんで、ぜひそれは十分検討して受診をしていただける体制をつくってほしいなと思います。

次に、議第11号について質問します。

これでちょっと教えていただきたいのは、東日本大震災の関係でこの間ずっと下水道事業が当初事業より3割減ぐらいで動きをずっとしてたと、それが平成25年度はどうだったのかということを具体的に聞きたいから、こう書いただけで。あとそれと今回繰越明許という形でかなり上がってますんで、その辺も入れた分で予算

に比べてどのぐらいの工事ができるのかというところを説明してください。

○議長（辻 一夫君） 上下水道部長。

○上下水道部長（取田弘之君） 減額の率をお尋ねでございますが、平成25年度、国庫補助金ベースで申しますと、当初要求しておりましたのが2億5,000万円、補助ベースであります。これに対しまして8,000万円ほど減額をされておりますので、減額率にいたしますと32%国費がカットされた。全体の事業ベースで申しますと、約31%ちょっとぐらいの事業ができなくなったということでございます。

そして繰越明許がなぜかという話なんです、今回の補正をお願いしておりますのは、先ほど申しました32%にかかる部分の減額、それと国の緊急経済対策の補正予算というのがございまして、それを活用して今度は増額したわけでございますが、これにつきましては、平成26年2月6日でございます、年度内の事業執行が不可能ということでございますので、この部分について補正予算分を全額を一括して平成26年度に繰越いたしました。全体の下水道事業費で申しますと、国費で減額いたしましたのは約2億4,000万円、そして今の増額、繰越明許させていただく部分が8,500万円と、最終的には事業費で6億2,000万円弱という事業を平成25年度で最終させていただくと、こういうことでございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） こんな場で数字ばかり聞いて申しわけない、私が理解できないので申しわけない。結果的には6億2,000万円の事業を平成25年度でしますよと。当初予定してた金額は幾らだったんですか。それをちょっと教えてください。

○議長（辻 一夫君） 上下水道部長。

○上下水道部長（取田弘之君） 当初7億8,000万円でございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） それでは次、議第12号について質問します。

これは保険給付費が当初予定よりも5,000万円ほど増えたということで補正をされています。その点では、この保険給付費として上がってるだけでして、居宅介護サービス給付費ということが増えてます。どのサービスが増えて、なぜ増えた

のかというところを分かりやすいようにお願いします。

一応、介護保険は3年計画ということで第5期ですかね、今。介護計画の真ん中の年ということですので、その予想と比較してどういうふうに平成25年度が落ち着くのかと。これも予想ですので正確な数字じゃないんですけど、そのところをちょっと教えてください。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） まず介護給付費増のどのサービスが増えたのかということでございます。給付費が増加した要因につきましては、居宅介護サービス費の中の訪問介護サービス及び通所サービスで利用率が増加したものでございました。介護保険事業計画では、先ほどおっしゃっていただきましたように、ちょうど真ん中になる年でございますけども、給付費総額を平成24年度より4%の増加と当初は見込んでおりました。しかしサービス利用率の増加によりまして、6%という形になったことから給付費の不足という形になるものでございます。

それと当初の介護保険計画と、それから最終年度の予測はということでございますけど。（「最終年度じゃなくて今年の最後のね。平成25年度の最後」と吉田議員呼ぶ）

平成25年の予測につきましては、当初計画より5,100万円の不足という形でございます。（「足りないからですね」と吉田議員呼ぶ）

それを補正ということで出させていただいているわけでございます。

それから次の事業計画、最終年度の予測ということでよろしいですか。（「あるんですか。あるんだったら教えてください」と吉田議員呼ぶ）

それにつきましては、事業計画では平成24年度の給付費が20億973万6,000円という形で予測しておりましたが、平成24年度の決算が20億1,273万円、ほぼ計画通りでございました。平成25年度におきまして20億8,975万円でございましたけども5,100万円が不足するということで、今回補正を出させていただけます。それと平成26年度でございますが、当初計画21億6,977万円に対しまして7,663万円ほどの増になるという形で予測させていただきまして、今回予算を上げさせていただいております。その金額は22億4,640万円と見込んでいるところでございます。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） それと議第13号ですけども、地域密着型介護老人福祉施設特別養護老人ホームと、今はこれはないと思うんですね。それでこの地域特養というのを町内に建設するという動きがあるのかどうかと、それとも田原本町として積極的に誘致するののかどうかというところをちょっと教えてください。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） 地域密着型の介護老人福祉施設特別養護老人ホームでございますけども、これにつきましては現在のところ、本町におきましては建設の予定もございませんし、本町といたしましては誘致的な形の考え方も今はいたしておりません。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） そしたら24時間型の介護も、12月議会ですかね、条例をつくられたと思うんですけども、それと同じように一応ないといけないということをつくったということの理解でよろしいですか。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） はい、そのとおりです。

○議長（辻 一夫君） 9番、吉田議員。

○9番（吉田容工君） それと、これは少しいい話なんです。議第16号、国保税の税額が下がるという提案ですね。

その中で、国保の医療にかかる分の資産割と、それと介護にかかる分の資産割と、両方ともなくしますよと、ほか増やすところがありませんので、それは純減ということになると思います。その点では、この減額された目的と、この結果ほかのところは、まだこれから変わるかも分かりませんが、今のところ奈良県でどのぐらい、何番目に高いぐらいの国保税になるかというところが、数字として持っておられるなら発表してください。

○議長（辻 一夫君） 住民福祉部長。

○住民福祉部長（平井洋一君） まず目的と申しますか、これにつきましてはプログラム法案ということで成立いたしました。平成29年には奈良県が保険者通達という形の方向性が出されております。その中において保険料自体が県が負荷をするの

かどうかというところの議論は、まだ煮詰まっていないところがございますが、大體一律的な形の方向性というのは出しておられると思います。その中におきまして、資産税は廃止されるであろうという形の考え方をいたしております。そうした中において資産税の廃止につきまして今回出させていただいてるわけでございますが、それに対します影響につきましては約3,200万円ほどが減額になると考えております。平成26年度の予算の国保税は平成25年度の予算と比べますと総額で3,800万円の減という形の考え方をしております。平成25年度の予算の資産税額、今おっしゃっていただきました医療分では3,260万円掛ける収納率の関係ございますので、3,031万円ほど不足しています。介護分で約180万円の、90%の収納率を考えまして162万円、合計合わせまして約3,200万円と予測しております。

県での順位ということにつきましては、今の各市町村の賦課の状況といたしますか、平成26年度部分につきまして分かりませんので、その部分については分かりませんが、例えば平成24年度で出されております、その部分で比較をいたしますと、田原本町では1世帯12万5,596円で今順位が8位ということで出ておるわけでございます。平成26年度の予算としては1世帯当たり12万600円程度になるという形のを試算をいたしております。これから申しますと、平成24年度そこに当てはめたときには大体13番目、斑鳩町より少し、同じようなところで13位ぐらいになるかなと、それぐらいの予測をいたしております。（「分かりました。以上です」と吉田議員呼ぶ）

○議長（辻 一夫君） ほかに質疑ございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○議長（辻 一夫君） ないようでございますので、これにて質疑を打ち切ります。

以上で本日の日程はすべて終了いたしました。本日の会議はこれにて散会いたします。ありがとうございました。

午前10時41分 散会